介護福祉学科では介護実習を 1 年次に介護実習Ⅰ、2 年次に介護実習Ⅱがあります。
また 1 年次の介護実習Ⅰは介護実習Ⅰ-①と介護実習Ⅰ-②に分けて、2 年間で合計 60 日間、450 時間の実習を行います。

介護実習Ⅰ-①（通所介護、障害福祉サービス、認知症対応型共同生活介護）
【実習目標】
1．多様な介護の実践の場を理解する
2．コミュニケーション技術を活かして利用者や家族との関わりから、利用者の理解を深める
3．日常生活の援助の場面を見学し、指導者の助言を受けて援助の必要性を理解する

介護実習Ⅰ-②（特別養護老人ホーム又は介護老人保健施設）
【実習目標】
1．利用者の心身の状態、環境、障害に応じた生活支援技術が実施できる
2．利用者の生活全般を把握し、生活の質を向上するためのアセスメントができる
3．多職種の役割や医療・保健・福祉の連携について理解できる

介護実習Ⅱ（介護過程の展開を含む総合実習）
（特別養護老人ホーム又は介護老人保健施設）
【実習目標】
1．総合的に利用者を理解し、介護過程が展開できる
2．施設の援助全般について理解する